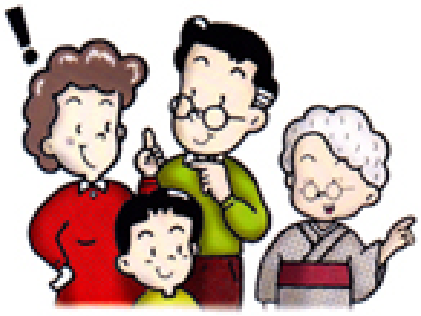
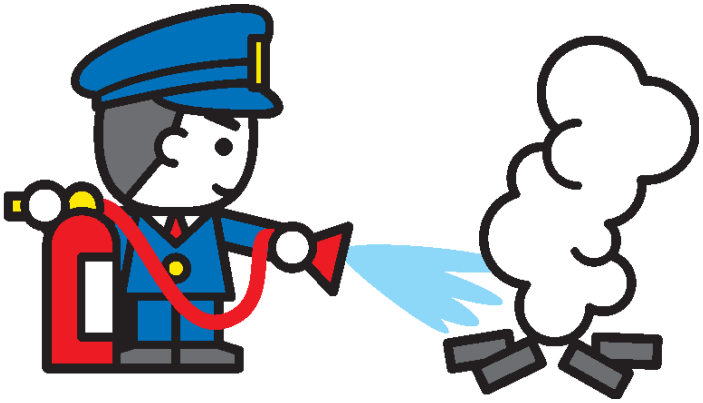
住宅用火災警報器のマークが変わります！

購入の目安にしてください！



ＮＳマーク付きで現在設置済み警報器は平成３１年３月３１日以降も使用可能です。

平成２６年４月１日以降は順次 新しい検定マークに変わります。

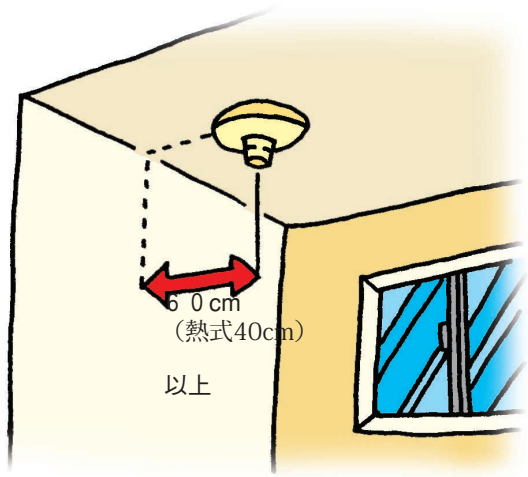


住宅用火災警報器の設置場所は？

火災警報器は天井または壁に取り付けます。
火災警報器 煙式 の取付位置の基準は…

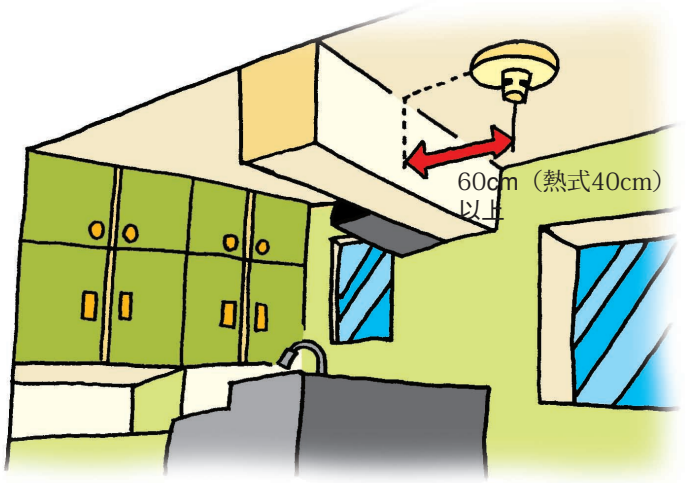
〈天井の場合〉

火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。
（熱式40cm）



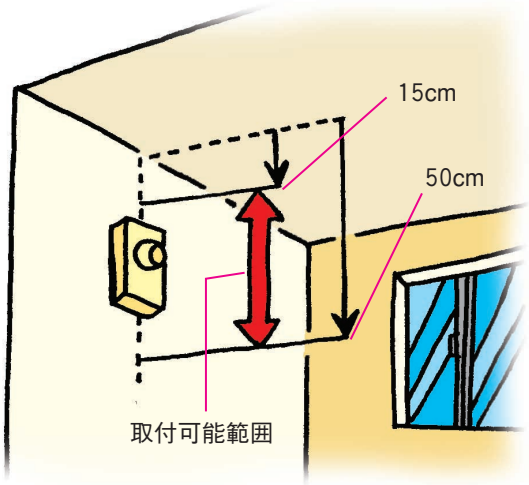
はりなどがある場合の取り付けは…

火災警報器の中心をはりから60cm以上離します。
（熱式40cm）



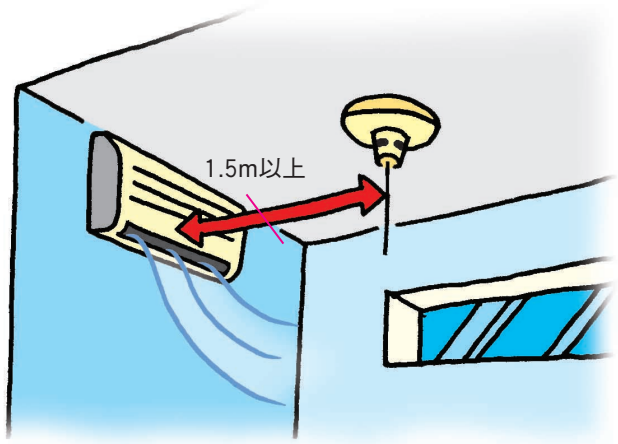
〈壁の場合〉

天井から15～50cm以内に火災警報器の中心がくるようにします。



エアコンなどの吹き出し口付近の取り付けは…

換気扇やエアコンなどの吹き出し口から1.5m以上離します



- 火災警報器の取付位置については、製品の取扱説明書を参照してください。

※　台所以外には、煙感知器を設置してください。

火災警報器の奏功事例

火災警報器が作動し、
大事に至らなかった例を紹介します。

寝室で…

★事例1

居住者は、寝たばこをして就寝中のところ、火災警報器の警報音で目が覚め、ふとんから煙が出ていることに気づき、あわてて風呂場へ持って行き、浴槽の水に浸した。

階段で…

★事例2

夕飯の準備のため、鍋に天ぷら油を注ぎ火に掛けたまでは良かったのですが、ついテレビに夢中になって調理をしていることを忘れてしまい・・・

当然、鍋からはもくもくと煙が発生、「危ない！　火災発生！」となるところですが、階段部分に付けていた火災警報器が作動し異常を知らせてくれました。関係者により初期消火・119番通報がなされて大事に至らなかった。

階段の…

★事例3

女性（90歳代）が1階の居室で、仏壇のロウソクに火をつけたまま就寝してしまい、ロウソクが転倒したのに気付かず、周囲の可燃物に着火、火災に至った。2階で就寝していた男性（30歳代）が、火災警報器の鳴動に気付き、階段に出たところ煙が漂っており、1階に降りたところ、仏壇から炎が上がっているのを発見、バケツと鍋で水道水をかけ消火した後、自宅の電話から119番通報を行った。

台所で…

★事例４

鍋を火にかけたまま、ついうっかり外出してしまい鍋が空焚き状態になりました。やがて鍋の中身が焼け焦げてもくもくと煙が発生し、火災発生となるところですが、住宅内に設置されていた火災警報器が煙を早期に感知して警報音を発してくれました。

隣に住んでいる方が、この警報音と煙で異常に気付き119番通報をしてくれて大事に至らずに済んだという事例です。

★事例５

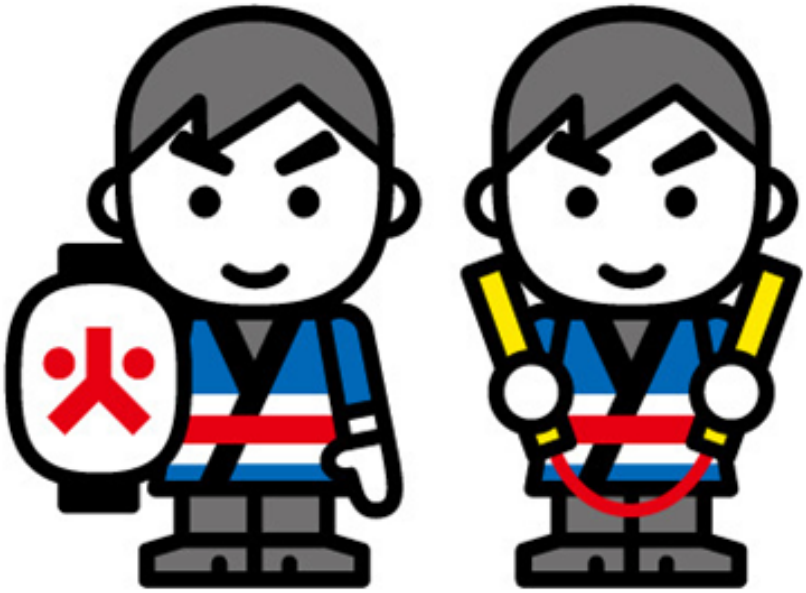
男性（60歳代）が庭で作業中、隣家の警報音に気づき、台所から出火しているのを発見。火災でパニック状態にあった隣家の家人は屋外に避難させ、妻に119番通報を指示し、自宅の粉末消火器で初期消火を行った。

この地域では数世帯がまとまって共同購入しており、近所の方でもすぐに火災警報器の警報音だと気づきました。取り付けの際に警報音を確認していたことが功を奏したようです。火災警報器を購入した場合は、家族で警報音を聞いておくことが大切です。

火災を見つけたら

- 周りに大きな声で知らせましょう。
- 避難しましょう。
- 119番へ通報しましょう。

代表的な火災警報器を紹介します。



感知方式：煙 式
電　源：電 池（１０年）
警報音：音 声
取付位置：天 井 ・ 壁

感知方式：煙 式
電　源：電 池（１０年）
警報音：音 声
取付位置：天 井 ・ 壁

感知方式：煙 式
電　源：電 池（１０年）
警報音：ブザー
取付位置：天 井 ・ 壁

感知方式：煙 式
電　源：AC１００V　警報音：音 声
取付位置：天 井（埋込）

感知方式：煙 式
電　源：AC１００V
警報音：音 声
取付位置：壁（埋込）

感知方式：煙式+ガス漏れ+CO
電　源：AC１００V
警報音：音 声
取付位置：　壁

感知方式：熱 式
電　源：電 池（１０年）
警報音：音 声
取付位置：天 井 ・ 壁

感知方式：熱 式
電　源：電 池（１０年）
警報音：音 声
取付位置：天 井 ・ 壁

感知方式：熱 式
電　源：電 池（１０年）
警報音：ブザー
取付位置：天 井 ・ 壁

日頃の管理が大切です

・ご使用の前に、取扱説明書をお読みください。
・火災警報器をはじめてご使用の際は、ご家族全員で警報を確認して、どのように避難するかなどを相談しておいてください。
・月に1回程度火災警報器が正常であることを確認してください。

1.日ごろのお手入れについて

火災警報器はものをぶつけたり、分解したりしないでください。また、スプレーを吹きかけたり、決められたシール以外の貼り付けや塗装をしないでください。正常に働かなくなる場合があります。

(1) 火災警報機能の確認

機種によっては、火災警報器本体から下がっている引きひもを引く、あるいはボタンを押すなどにより火災警報器の作動試験ができます。(作動試験は1ヵ月に1回程度行うことを、おすすめします。)

なお、次の場合には作動試験を必ず行ってください。

①はじめて取り付けたとき
②電池を交換したとき
③汚れなどの掃除をしたとき
④取付場所を変更したとき
⑤故障や電池切れが疑われるとき
⑥3日以上留守にしたとき

ご注意：タバコやライターなどの裸火で試験すると、大変危険ですのでおやめください。

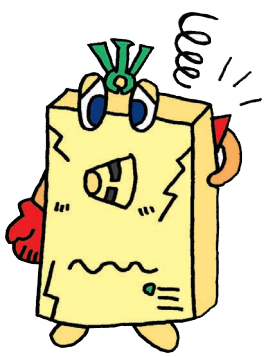
(2) 火災警報器の汚れ

台所などに取り付けた場合、油や煙などにより汚れが付着することがあります。家庭用中性洗剤を浸して十分絞った布で軽くふき取ってください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

また、故障の原因になりますので水洗いは絶対にしないでください。

ご注意：本体周囲にある煙流入口は煙を感知する重要な部分です。塞いだり、傷をつけたりしますと火災警報器の機能を発揮できません。掃除のときは、十分注意してください。

(3) 火災警報器本体に破損、またはひびを生じた場合には正常に機能しないことがあります。その場合は、新しい火災警報器に交換してください。

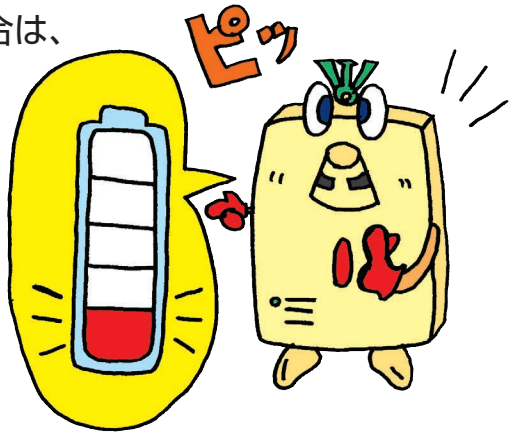


2.故障かな?と思ったら

(1) 作動試験をしても、警報が鳴らない

①電池の寿命または電池ホルダやコネクターの接触不良などが考えられます。電池を新しいものに交換または電池接続部分を確認してください。

②電池を新しいものに交換しても作動しない場合は、火災警報器の故障も考えられますので、販売店または、メーカーにご相談ください。



(2) 火災ではないのに警報が鳴る

①ピッと短い音が一定の間隔で鳴る場合は、電池切れの注意音です。火災ではありません。電池を新しいものに交換をしてください。(機器ごと交換する機種は、新しい火災警報器に交換してください。)
電池交換しても注意音が鳴り続ける場合は機能異常が考えられますので、新しい火災警報器に交換してください。

②タバコの煙、調理時の湯気や煙、ほこりなどの原因が考えられます。これらの原因がなくなれば警報は停止します。

③ひんぱんに警報が鳴るとき、または警報を一度止めても2、3度と鳴るとき、取り付けた場所でひんぱんに②の現象が発生していませんか。その場合は取付場所を変更してください。それ以外のときは火災警報器の故障が考えられます。販売店または、メーカーにご相談ください。

④燻煙式殺虫剤などを使用する場合、火災警報器が警報を発することがありますので、火災警報器を取り外す、ビニール袋で覆うまたは、ACプラグを抜くなどしてください。(燻煙式殺虫剤などを使用した後は、速やかに元に戻してください。)

3.交換期限について

火災警報器の交換期限は機種により異なります。

（1）自動試験機能付のタイプ

自動試験機能付の火災警報器は、表示された交換期限または、機能の異常警報が出たときに本体を交換してください。

（2）自動試験機能の付いていないタイプ

交換期限は、火災警報器本体に表示されています。取り付け時に交換期限を必ず確認し、表示された交換期限がきたら本体ごと交換してください。

住宅用火災警報器なんでも相談室

高齢者や障害のある人など、取り付けが困難な場合は、消防職員が自宅まで伺います。

ご気軽にご相談ください！